

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 気仙沼市立中井小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒 988-0563
宮城県気仙沼市唐桑町中井134-3

E-mail : nakai-sho@kesenuma.ed.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 43 名 女子 34 名 合計 77 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

テーマ	ふるさを見つめながら、未来に生きる子どもを育てる	
<p>1 本校のESDでめざすもの</p> <p>(1) ESDのねらい 学年毎のテーマに基づき、生活科や総合的な学習の時間を活用して、地域住民や外部機関の支援を受けながら様々な体験活動を展開する。特に、公民館との連携のもとに「ふるさと学習会」を実施し、地域の豊かな自然や文化、産業等を実感的に理解させ、ふるさとのよさを見つめ直す契機とする。</p> <p>(2) ESDで育てたい資質・能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の豊かな自然や文化、産業等を実感的に理解することで、ふるさとのよさを見つめ直し、それを大切に受け継ごうとする思い。 ・地域の課題や未来について考え、自分にできることを実践しようとする態度。 <p>(3) 本校ESDの特長 生活科や総合的な学習の時間を活用して、地域の自然観察、野菜の栽培活動、こんにゃく作り、アルミ缶回収等の体験活動を地域住民の支援を受けながら展開している。また、公民館との連携による「ふるさと学習会」では、各教科、総合的な学習の時間を活用し、唐桑の名所・旧跡の見学、魚市場見学、防災センター見学、海辺の生物観察、「森は海の恋人」運動に学ぶ活動、福祉施設訪問等を実践している。震災後は、海に関する活動の一部に替わり、社会科の学習と関連させた防災に関する学習を取り入れ、実践している。</p>		
<p>2 本年度のESDの実践計画</p>		
学年	テーマ	内容
1	どきどき わくわく みつけよう！	草花の栽培や、自然素材を使った造形活動や遊びを通して、身近な自然に親しむ活動を行う。
2	聞いて 聞かせて しんはっけん！	地域の自然観察や野菜の栽培活動を通して、身近な自然の豊かさを体験的に理解する。
3	知りたいな ふるさとの自然	魚市場の見学や野菜の栽培活動を通して、身近な「食」について理解を深める。
4	わくわく体験！ ふるさとの伝統	地域の伝統について学んだり、調べたりする活動を通して、地域の人やもの、伝統文化や伝統芸能のよさについて感じ取る。
5	見つめよう！ 私たちを取りまく世界	水辺の生物観察を通して、自然界の仕組みについて理解を深め、「森は海の恋人運動」と教科を関連させながら自分たちが行うことのできる自然環境保全の取組について考える。さらに、地域の防災について考え、防災リーフレットを作成する。
6	共に歩もう！ 未来に向けて ～地域と未来への貢献～	地域にも協力を呼びかけたアルミ缶回収を年間を通して実践し、福祉施設に贈り物をするボランティア活動を行ったり、施設利用者との交流を行ったりする。地域の史跡見学では、生まれ育った地域の歴史について学ぶ。

